

令和2年度
北海道・東北ブロック
青少年国際交流を考える集い

福島大会テーマ

葛藤をこえた人のつながり

～ローカルとグローバルの視点から多様な価値観を考える～

★福島ならではの問題に焦点を当て、
国際交流を考えます。

Keynote Speech



講演

福島大学経済経営学類教授
マクマイケル・ウィリアム氏

震災後のふくしまから発信する
～福島を愛する外国人の目線から～



ワークショップ
「福島の家族会議 after3.11」

WORK
SHOP

申込みはこちら



〈申込締切り〉8月13日(木)

※定員を超えた場合は早めに
締め切ることがあります。

お支払方法：

日程 2020年8月22日(土) 13:00～

会場 オンライン開催 (ZOOM)

参加費 全日程参加 1,000円
※事後活動研修費対象者は無料

対象者

- ・国際交流に関心のある青少年
- ・内閣府、各ブロック内の地方公共団体が
実施した青少年国際交流事業の既参加者等

問合せ先

北海道・東北ブロック青少年国際交流を考える集い実行委員長 松井 智宏
TEL 090-5187-2878 E-Mail funetotubasa2020@gmail.com

裏面へ➡



主催：内閣府 日本青年国際交流機構

一般財団法人 青少年国際交流推進センター 船と翼の会ふくしま

令和2年度 北海道・東北ブロック青少年国際交流を考える集い

1. テーマ

「葛藤をこえた人のつながり～ローカルとグローバルの視点から多様な価値観を考える～」

2011年3月11日に発生した東日本大震災、それに伴い発生した福島第1原子力発電所事故。「放射線」という見えない存在によって、人々はさまざまな葛藤をし、さまざまな選択をしてきた。震災後約10年が経ち、福島でも復興が進んでいる一方で、故郷に戻るべきか、戻るべきではないかというような新たな葛藤も生まれている。

福島に暮らす人の視点、外国人の視点などさまざまな視点から「福島の今」について理解を深めていくとともに、国際交流を通じた青少年の育成について考える。

2. 日程 8月22日(土)

- 12:30～12:50 受付
- 13:00～13:10 開会式
- 13:15～15:30 ワークショップ「福島の家族会議 after3.11」
- 15:45～17:00 講演「震災後のふくしまから発信する～福島を愛する外国人の目線から～」
講師：マクマイケル・ウィリアム氏
- 17:00～17:20 北海道・東北ブロック各道県の事後活動紹介
- 17:20～17:30 閉会式
- 17:40～18:40 懇親会 (ZOOMのブレイクアウトセッションを使用し、少人数で15分×4回
国際交流・地域活動等について情報交換)

3. ワークショップ 「福島の家族会議 after3.11」

東日本大震災による原発事故後、福島の家族ではどんなことが起きていたのか、6～7人のグループに分かれて、家族内のそれぞれの立場(祖父母、父母、子ども)から追体験する。

4. 講演

テーマ：「震災後のふくしまから発信する～福島を愛する外国人の目線から～」

講師：マクマイケル・ウィリアム氏 (福島大学経済経営学類助教)

カナダ出身、2007年8月に来日後、福島県国際交流協会にて国際交流員として2010年8月まで勤める。2010年9月からは福島大学に特任専門員(国際交流担当)として雇用され、海外校との協定や、海外向け短期プログラムの計画など、福島大学における国際化推進業務に携わっている。東日本大震災では、震災直後から被災地での支援活動に関わり、留学生の防災支援など、国内外で東日本大震災に関する積極的な情報発信活動を続けている。

5. お申込み・お支払い

インターネットでのみのお申込みです。
お支払いはPeatixで決済をお願いいたします。
右記からアクセスしてください。

2017年度以降に内閣府青年国際交流事業に参加された方は、ブロック大会及び全国大会の参加費はそれぞれ1回ずつ無料で参加できます。希望の方は無料チケットを選択してください。

<https://funetotubasa1.peatix.com>

